



CEReS

Newsletter No. 111

Center for Environmental Remote Sensing, Chiba University, Japan

千葉大学環境リモートセンシング研究センター ニュースレター 2015年2月
発行：環境リモートセンシング研究センター
(本号の編集担当：ヨサファット)
住所：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
Tel: 043-290-3832 Fax: 043-290-3857
URL: <http://www.cr.chiba-u.jp/>

◆ 第17回 CEReS 環境リモートセンシングシンポジウム開催 ◆

平成26年度のCEReS共同利用研究報告会が2月20日に千葉大学けやき会館で開催されました。CEReSでは、共同利用・共同研究拠点としてリモートセンシングによる環境研究の発展、CEReSの施設・設備や受信・収集した衛星データ・環境データの有効利用のために、大学、その他の研究機関に所属する研究者と当センターの研究者が協力して共同利用研究を実施しています。

今年度は、先端リモートセンシングプログラム、情報統合プログラム、衛星利用高度化プログラムに関連した研究発表（口頭19件、ポスター33件）とUAVリモートセンシング研究会主催の発表の平行セッションを実施し、約100名の参加者らが熱心に議論を交わしました。また、新規に立ち上げたUAVリモートセンシング研究会では、約50名の参加者を得て、12件の講演および実機とシミュレータを囲んだサロンが開催されました。サロンではマルチコプターの技術的課題、運用上の注意点などに関する議論が行われ、マルチコプターを安全に運用し、環境や災害研究のツールとして役立てていくための情報交換が行われました。当日の発表題目等の詳細なプログラムは、CEReSウェブサイト共同利用のページに掲載*しておりますので、ご参照ください。後日、これらの成果として、「第17回CEReS 環境リモートセンシングシンポジウム資料集」を発行する予定です。

(*プログラム：<http://www.cr.chiba-u.jp/Documents/symposiums/symp2014/RSPprogram17-H26.pdf>)

(共同利用研究推進委員会委員長 本郷千春)



開会の挨拶：建石センター長



口頭研究発表の様子





UAV リモートセンシング研究会
座長：近藤教授



ポスター研究発表の様子

CEReSCEReSCEReSCEReSCEReSCEReSCEReSCEReSCEReSCEReSCEReSCEReS

総合地球環境学研究所と学術交流に関する包括協定を締結

平成 27 年 2 月 20 日（金）、本センターは総合地球環境学研究所と学術交流に関する包括協定を締結しました。

これは、両機関間のリモートセンシング分野における交流と協力を促進し、研究内容の充実、発展を図ることを目的として、協定締結のため協議してきた努力が実ったものです。この協定に基づき、来たる 3 月 27 日に京都の総合地球環境学研究所において両機関主催による連携構築ワークショップ*の開催を予定しており、両機関の研究資源と研究課題を相互に理解し、将来的な共同研究のシーズを発掘していきます。

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所の詳細は <http://www.chikyu.ac.jp/>

*RIHN-CEReS連携構築ワークショップ (<http://www.chikyu.ac.jp/publicity/events/etc/2015/0327.html>)



協定文書交換後に握手を交わす関野樹・総合地球環境学研究所・研究高度化支援センター
情報基盤部門長（右）と建石隆太郎・千葉大学環境リモートセンシング研究センター長（左）